## 金沢市子ども生活応援プランの進捗状況について

#### 1 計画の趣旨

「金沢市子どもの貧困対策基本計画」及び「金沢市ひとり親家庭等自立促進計画」を一体化した計画として、子どもの貧困対策を総合的に推進することを目的に策定

#### 2 計画の期間

令和 4年度から 令和 8年度まで (5年間)

#### 3 計画の位置づけ

子どもの貧困対策の推進に関する法律第9条に規定する市町村計画 母子及び父子並びに寡婦福祉法第12条に規定する自立促進計画

#### 進捗状況評価

A…事業内容が拡充したもの、当初計画を上回る効果があったもの

B…おおむね計画どおり実施しているもの

C…未実施又は効果がなかったもの

令和4年度 主な施策の進捗について									
施策名	施策内容	令和4年度 事業実績	進捗状況 評価	令和5年度 実施内容	担当課				
金沢市育英会奨学資金	保護者が市内に在住する高校生のうち、学業が優れ又は文化・スポーツ活動に熱心に取り組み、経済的に 就学が困難な生徒に対し、奨学金を支給	学業部門94名 文化・スポーツ部門59名	В	継続	子育て支援課				
かなざわ子育てすまいるクーポン	文化・スポーツ施設の利用券や子育てサービスの助成券等をセットにした「かなざわ子育てすまいるクーポン」を交付。令和4年度よりクーポンの対象に病児ー時保育を加えたほか、令和5年4月より各種クーポンを電子化	交付人数: 2, 947人	A	拡充	子育て支援課				
子ども体験活動支援事業	経済的に困難な状況にある児童に多様な体験活動等の機会を提供するため、体験型クーポンを発行令和5年度より、クーポン対象施設を拡大(金沢市スポーツ事業団、金沢子ども科学財団、キゴ山ふれあい研修センター)	交付人数: 1. 366人 利用人数: 132件	В	拡充	子育て支援課				
高等職業訓練促進給付金	母子家庭の母又は父子家庭の父で経済的自立に効果的な資格(看護師等)を取得するために1年以上養成期間等で修学する場合で、就業(育児)と修学の両立が困難な場合に、生活費の負担軽減のため、一定期間、給付金を交付	訓練促進給付金:24名 訓練修了支援給付金:6名	В	継続	子育て支援課				
子どもの相談支援体制充実事業	子どもに関する様々な相談・支援やネットワークづくりを担う子どもソーシャルワーカーを配置し、支援が必要な子どもを早期に発見・支援する体制を構築	相談件数136件	В	継続	子育て支援課				
金沢こども応援ネットワーク事業	子どもの貧困対策など、子どもの生活を支援する活動を行っている団体等がネットワークを形成して交流をもち、支援情報の発信への協力、情報交換、各団体の活動の充実等を目指す	44団体参加(R5年4月現在)	В	継続	子育て支援課				

令和5年度 新規施策及び拡充施策について										
	施策名	施策内容	令和5年度実施内容	担当課						
拡充	ひとり親世帯制服リユース事業	  不要となった制服を回収し、メンテナンスの上、ひとり親世帯を優先に全ての子育て世帯に無償で提供 	回収場所を14か所から28か所へ増加	子育て支援課						
拡充		離掲別は「一致月見作政」(示るア設工見用で明以   士七、越紙後、美卒毒の所に沈みがさいない。  はまっち 美卒毒のになる事の一切を明け	弁護士資格を持つ職員を子育て支援課内に配置し、養育 費等の相談に対応 養育費の取り決めについての弁護士相談費用の助成等	子育て支援課						
拡充	   拠点型子ども宅食モデル事業 	児童扶養手当受給世帯等を対象に、地域や福祉専門職と連携し食材等の提供を通して支援につなげる モデル事業を実施	モデル地区を2地区に拡大	子育て支援課						
拡充	子ども見守り支援事業	伴走型で子どもの見守り活動を行うNPO団体等に対する助成制度を拡充	1団体につき上限2,000千円 上記に加え、支援世帯数に応じた加算制度を創設(上限 1,000千円)	子育て支援課						
新規	子ども居場所づくり総合支援事業	子ども食堂や学習支援教室などの子どもの居場所づくりを総合的に推進するための助成制度を創設(開設費及び運営費を支援)	新規開設等経費として補助率3/4、運営費として補助率10/10を助成(月ごとの開催回数に応じた限度額あり)	子育て支援課						
新規	ひとり親家庭情報発信機能強化費	市公式LINEを活用し、ひとり親家庭に必要な支援情報を提供	プッシュ型情報発信の導入 AIチャットボットによる情報検索機能の強化	子育て支援課						

# 金沢市子ども生活応援プランの進捗状況について

## 1. 進捗状況評価

①目 的

金沢市子ども生活応援プランの計画期間 (R4~R8年度) において、各事業の実施状況を確認する。

## ②評価対象事業

計画策定当初(137事業)

## ③評価対象年度

令和4年度

## 4評価分類

「A」 : 事業内容が拡充したもの、又は当初計画を上回る効果があったもの

「B」 :おおむね計画どおり実施しているもの

「C」 : 未実施のもの、又は効果がなかったもの

# 2. 進捗状況評価結果

上段:事業数 下段:割合

	評価		応援プラン			
	A	В	С	掲載事業数	土件計画	
施策の方向性 1	0	38	0	38	В	
すべての子どもの健やかな	(0%)	(100%)	(0%)	(100%)		
育ちを支える生活支援						
施策の方向性 2	1	11	0	12	В	
すべての子どもが能力や可能性を	(8.3%)	(91.7%)	(0%)	(100%)		
伸ばすことができる教育支援						
施策の方向性3	1	62	0	63	В	
生活基盤の安定と向上を図るための	(1.6%)	(98.4%)	(0%)	(100%)		
保護者への支援						
施策の方向性4	2	18	0	20	В	
地域から切れ目なくつながる	(10%)	(90%)	(0%)	(100%)		
重層的な支援体制の推進						
施策の方向性 5	0	4	0	4	В	
施策・制度の周知及び	(0%)	(100%)	(0%)	(100%)		
子どもの貧困に関する意識啓発						
\h.	4	133	0	137		
全体	(2.9%)	(97. 1%)	(0%)	(100%)	В	

A·B評価 100%